

平成27年6月23日
九州地方整備局
11:50現在

鹿児島県口永良部島の噴火に伴う取組状況（第23報）
～防災ヘリコプター「はるかぜ号」による現地調査（第8次・第9次）結果及び
口永良部島の3D画像モデル、降灰状況マップ等の提供について～

- ・5月29日9時59分、鹿児島県口永良部島で噴火が発生。
- ・5月30日より、緊急災害対策派遣隊（TEC—FORCE）による、屋久島中継所から口永良部島を監視するカメラの映像を配信中。

概要

○第8次・第9次調査結果

- ・平成27年6月18日の再噴火に関して、噴火後の降灰状況及び降雨による土砂流出状況を調査するため、九州地方整備局職員が6月20日及び21日の両日、ヘリ調査を実施しました。

○口永良部島の3D画像モデル、降灰状況図等の作成について

- ・九州地方整備局が撮影した写真データを基に、口永良部島の3D画像モデル、降灰状況図を作成。
- ・「はるかぜ号」から撮影した映像を基に、国土地理院が画像を合成し空中写真を作成。
※なお、上記3D画像モデル等については6月12日（金）に屋久島町へ提供済み。

※下記HPでも九州地方整備局の活動状況を写真とともに紹介しています。
http://www.gsr.mlit.go.jp/bousai_joho/tecforce/tec-force_at_kutinoerabu.htm

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部
企画部 広域計画課長 田浦 峰星
電話:092-414-7301(本部直通)
FAX:092-481-9210(本部直通)

【ヘリ調査結果に対する問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部
企画部 火山防災対策分析官 永吉 修平
電話:092-414-7301(本部直通)

【空中写真作成に関する問い合わせ先】

国土交通省 国土地理院 にしき
九州地方測量部 防災情報管理官 錦 輝明
電話:092-411-7929(直通)
FAX:092-411-7882(直通)

○これまでの活動履歴

1. 体制

○災害等応援本部体制履歴

- ・ 5/29 10:08 非常体制

2. 防災ヘリコプター「はるかぜ号」による被災状況調査

■ 1次調査

- ・ 5/29 口之永良部島上空より撮影

■ 2次調査

- ・ 5/30 口之永良部島上空より撮影

■ 3次調査

- ・ 5/31 「はるかぜ号」口之永良部島上空より撮影
- ・ 5/31 「愛らんど号」口之永良部島上空より撮影

■ 4次調査

- ・ 6/1 口之永良部島上空より撮影

■ 5次調査

- ・ 6/4 口之永良部島上空より撮影

■ 6次調査

- ・ 6/6 口之永良部島上空より撮影

■ 7次調査

- ・ 6/12 口之永良部島上空より撮影

■ 8次調査

- ・ 6/20 口之永良部島上空より撮影

■ 9次調査

- ・ 6/21 口之永良部島上空より撮影

3. リエゾン派遣状況

派遣先	派遣中人数	活動開始日時	備考
鹿児島県庁	0人	5/29 12:00	6/3 9:00撤収
屋久島町役場	2人	5/29 15:50	
合計	2人		

4. TEC-FORCE派遣状況

TEC-FORCE派遣員数 6名を派遣中

5. TEC-FORCE活動状況

- 5/29 20:35~23:00 屋久島中継所にて、カメラ回線設定のための事前調査を実施
- 5/30 11:50~ 屋久島中継所から口永良部島を監視するカメラの映像配信開始
- 6/3 11:50~ 屋久島町役場(町長室)にて口永良部島を監視するカメラの映像受信開始
- 6/6 16:50~ 屋久島町役場(執務室内)にて口永良部島を監視するカメラの映像受信開始

6. 派遣機械・機器

○情報収集車 1 台

- ・ 5/30 屋久島中継所にてKu-SAT映像配信開始（監視カメラ映像）
- ・ 5/31 永田公園にてKu-SAT映像配信開始（愛らんど号撮影映像）
- ・ 6/ 3 屋久島町役場にKu-SAT設置（監視カメラ映像受信）

○待機支援車 1 台

- ・ 6/2 屋久島町役場にてTEC執務室として活用
- ・ 6/5～ TV会議室として活用中

○小型パトロールカー 1 台

- ・ 6/4 ネットワークカメラを活用し動画配信
- ・ 6/5～ 情報収集車と連携して無線通信調査中

○衛星通信装置 (Ku-SAT) ①

- ・ 5/30 屋久島中継所で口之良部島の映像配信開始
- ・ 6/3 屋久島町長室への監視モニター設置
- ・ 6/4～ 屋久島町長室への監視モニターへはるかぜ映像配信中

○衛星通信装置 (Ku-SAT) ②

- ・ 6/2 ヘリテレ映像受信等のため待機
- ・ 6/4～ 高感度カメラ調整中

○衛星通信装置 (Ku-SAT) ③

- ・ 6/4～ Ku-SAT設置場所選定の現地調査継続中

【 参 考 】

リエゾン（災害対策現地情報連絡員）とは

地震・水害・土砂災害等の大規模自然災害の発生時に、地方公共団体が設置した災害対策本部へ国土交通省職員を派遣し、災害情報等の情報収集、災害応急対策の支援等を行うものです。

緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）とは

■目 的

TEC-FORCEとは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

■主な任務

被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

- ①被災状況の迅速な把握
- ②被害の発生及び拡大の防止
- ③被災地の早期復旧

TEC-DOCTORとは

九州地方整備局が所管する管内の河川・道路・砂防等関係業務において、災害復旧等の技術的指導・助言を行う外部専門家（学識経験者）



図-1 位置図

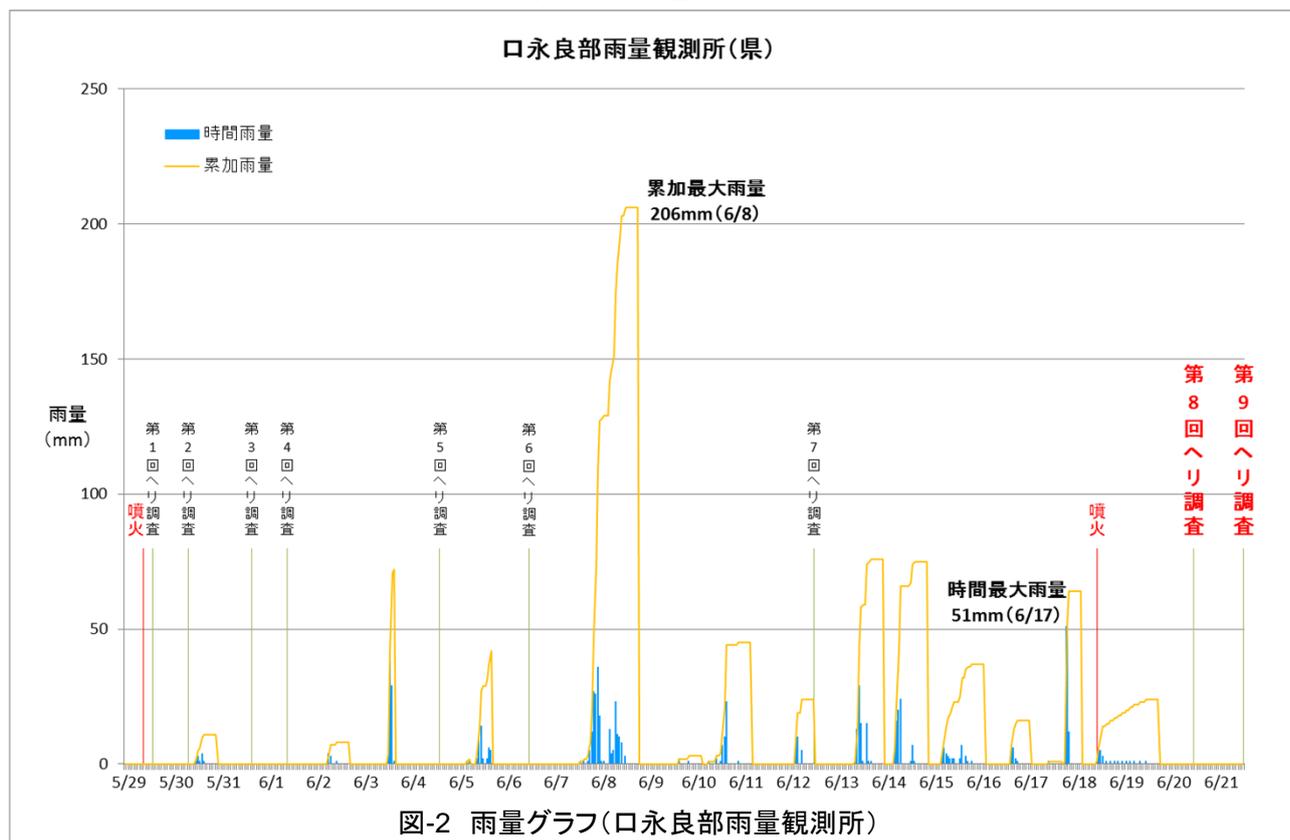


図-2 雨量グラフ(口永良部雨量観測所)

降灰状況の確認

- ・5月29日の噴火以降、斜面への降灰状況調査を実施。
- ・降雨後の調査(6月1日、4日)では、山腹斜面に堆積した火山灰の一部流出が確認された。
- ・6月18日の噴火後の調査の結果、降灰範囲等に大きな変化は見られなかった。(6月21日調査)

新岳北西側斜面【写真①】



九州地整はるかぜ号から撮影

平成27年5月29日 (第1回へり調査)



九州地整はるかぜ号から撮影

平成27年6月1日(第4回へり調査)



九州地整はるかぜ号から撮影

平成27年6月4日(第5回へり調査)



九州地整はるかぜ号から撮影

平成27年6月21日(第9回へり調査)

火山灰等の影響が確認された溪流の調査

- ・5月29日の噴火以降、火山灰の影響が確認された溪流の調査を実施。
- ・5月30日の降雨(時間4mm、累加11mm)では、顕著な土砂移動は確認されなかった。(6月1日調査)
- ・6月3日の降雨(時間38mm、累加72mm)後の調査で、向江浜川で小規模な土石流を確認。(6月4日調査)
- ・6月21日に調査を実施した結果、降雨による土砂の移動はあるものの、大きな変状は見られなかった。

向江浜河口の状況【写真②】



平成27年5月29日 (第1回へり調査)



平成27年6月1日(第4回へり調査)



平成27年6月4日(第5回へり調査)



平成27年6月21日(第9回へり調査)

口永良部島噴火対応3D画像モデル

●土砂災害を専門とする九州地方整備局職員が「はるかぜ号」の機内から撮影した写真データを用いて、3D画像モデルを作成

●H27. 6. 12(金)に屋久島町へ提供



▲ 口永良部島噴火対応3D画像モデル

平成27年6月1日の九州地方整備局防災ヘリコプター「はるかぜ号」の機内から、整備局職員がデジタルカメラで撮影した写真データを用いて、3D画像モデルを作成しました。

パソコンソフトを用いて、あらゆる角度から視点を変えて立体的に島の映像を見ることができます。

噴火により降灰の影響を受けた地域や、道路、山腹の状況などを立体的にみることにより、現在の島の状況の確認や**火山灰等の堆積状況の把握**をすることができます。

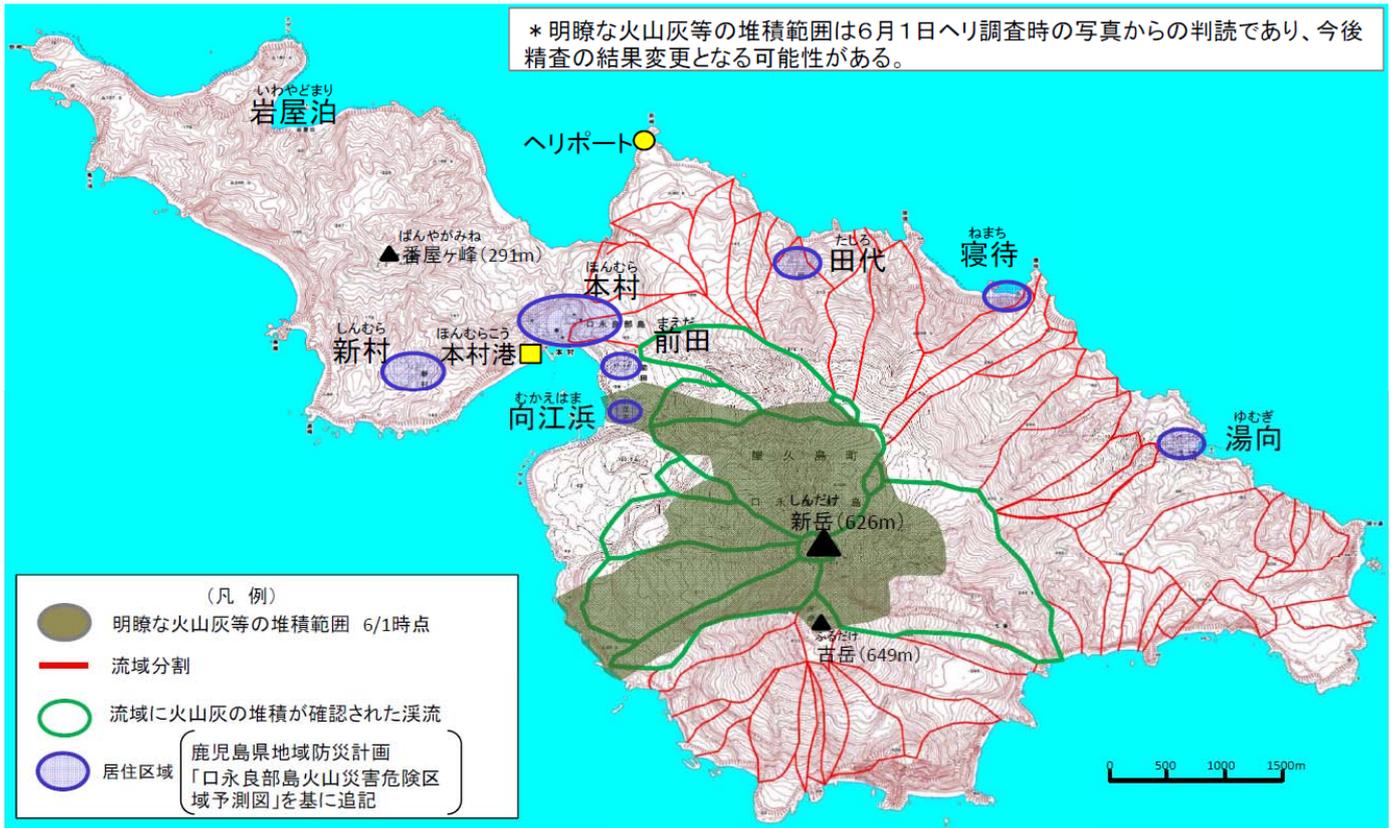


▲ 荒木町長へパソコンソフトを用いて説明

口永良部島降灰状況図

- 土砂災害を専門とする九州地方整備局職員が降灰状況図を作成
- H27. 6. 12(金)に屋久島町へ提供

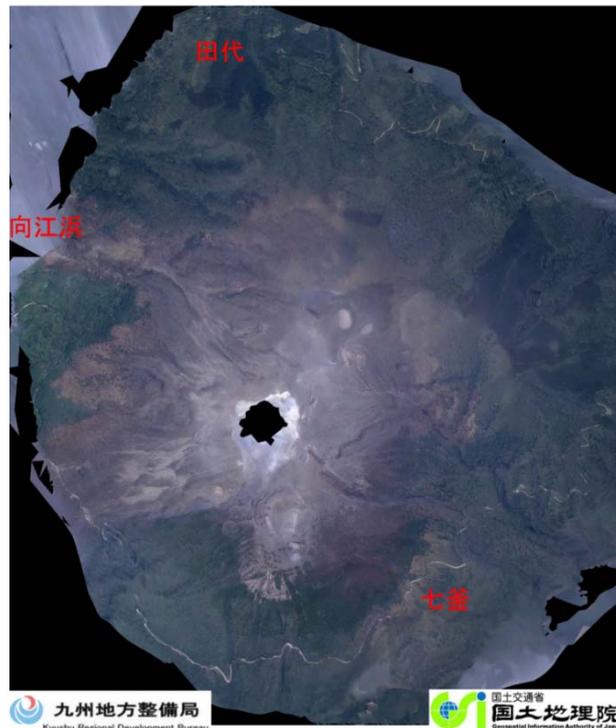
口永良部島降灰状況(H27.6.1調査時点)



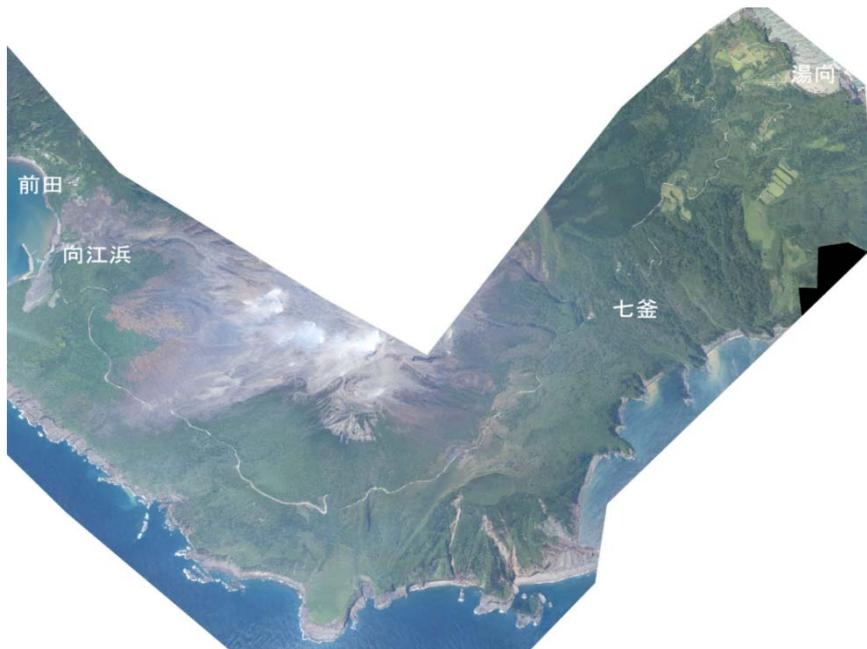
▲ 口永良部島降灰状況図

口永良部島空中写真

- 土砂災害を専門とする九州地方整備局職員が「はるかぜ号」から撮影した映像を基に、国土地理院が画像を合成し空中写真を作成
- H27. 6. 12(金)に屋久島町へ提供



▲口永良部島の撮影画像【新岳周辺】



▲口永良部島の撮影画像【南側】